

# 翔る



佐藤 峯夫 議長

仙北市民の皆さん 遅ればせながら新年のごあいさつを申し上げます。2010年の輝かしき新春を迎え皆様ご家族のご健勝とご多幸を心からお祈りします。

さて第8回定例議会の議会だよりは、昨年12月3日に開会され、18日に閉会となった12月定例会の報告です。どうしても年末年始をはさむためニュース性に欠ける嫌いがありますがご容赦ください。

議会広報委員が毎回、編集に工夫をこらして発行する議会だよりを今年もご愛顧のほどよろしくお願いたします。

## 寅年に翔る

仙北市議会  
議長 佐藤 峯夫

72歳の誕生日を迎え、恥を知る議員になりたいと誓った。

「選挙」を意識する余り住民に迎合し、真実を伝えるべき勇気と使命を失っている自分に気付いたからである。それを教えてくれた人は、昨年11月20日市議研修会での北川正恭元三重県知事でした。

日本人がこんなに墮落して志を失い恥を知らなくなつた時代はかつてなかった。私の70年の人生

の中でも、今が人間の品性がどん底の時と思われ

る。そうした時代の今、「議会の力が問われる年」でもある。

議会に求められるのは提案されたものの内容を読み取り、修正する能力だと北川先生は説かれた。

同時に住民のありようも問われる。

「誰を議員に選ぶかは非常に大きい」ことを…。

## 今年も背伸びせず



### 虎は吠える！

真崎 寿浩

平成5年から議会にお世話になって以来、お付き合ひ頂いた寅年生まれの先輩議員の方々は、そ

ろってバイタリティーにあふれた闊達な方々でした。

寅年生まれの人は「そんなもんかなア」と思いながら、4回目の年男を迎えた私が、今やるべきことは何かと考えるに、世代的にも年齢的にもリーダーシップを発揮して地域を元氣付けて行く事と考えます。

今日までの、世代的な

甘えを払拭し、経験を生かしながら多くの事を語り、そして受け入れ、議員としての心構えをしつかりと持ち、がんばりたいと思います。

節目の年をむかえ、「地域づくりの為の人づくり、人づくりの為の地域づくり」を基本に、「地域力は人間力、人間力は地域力」という事を再認識し、どんどん吠えて、声高らかに吠えていきたいと思ひます。



### 「寅い！」

浅利 則夫

昭和25年生まれという事で今年は5回目の年男を迎えることとなった。頭髮は白に近い胡麻色、物を読むにも書くにも老眼鏡が手放せなくなつて久しいが体力には自信あり。寅年に生まれたこと

にあやかり、万青年を貫き毎年新しく「トライ」する物を探す事を一年の始まりとしている。さて今年は何にトライしようか。

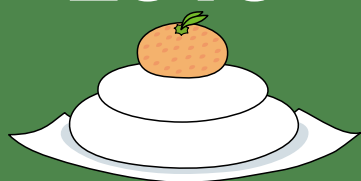
ここ旧松木内村地域は仙北市で最も高齢化の進んでいる地域。お年寄世代では日常生活に必要な買い物も出来ない状況下にある人も多く、これにNPO活動で対策が出来ないものか？

松木内小学校と地域の人達が一緒に行っている田んぼアートを見物客が訪れるほどに大きくクツキリと田植えをするにはどう技を改良するのか、実った稲をどう利用していくのか？

秋田内陸線の経常損失額がこれ以上増えないように、内陸線がずくっと存続できるよう、お客がこの地域に訪れる四季折々のイベントが出来ないものか？

今年も背伸びせず地域の思いを一つでも形として表せる年としよう。

2010



# 寅年に



心、新たに

大石 温基

今年も新年早々雪との戦いからの始まりです。12年ごとに回ってくる寅年、12年前は子育ての最中で楽しさもありましたが厳しさもあり、今振り返って見ると、よく育て上げることができたのだと思います。

今年も人生の中で大きな節目の還暦に当たり神代中学校第19期生の還暦を祝う会が行われます。何年、何十年ぶりに先生方や同期生に会えるのを楽しみにしています。

子供の頃60歳という年齢で年寄りという感じに見えました。今自分がその年になってます。子供達から見ると十分年寄りに見えると思いますが自分ではまだ若いつもりでいます。

今年も市議会議員の改選の年にもなります。



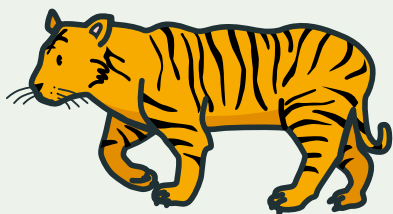
キャッチミー

小林 幸悦

仙北市も財政の問題、社会資本の整備、農林業の活性化等沢山の課題が山積みしています。住みよい仙北市、住みよい街づくりに努力して参りたいと思います。今年も皆さまの力添えを頂きながら新たに方向かって行きたいと思えます。

5回目を迎えた年男、還暦という老いを感じさせられる言葉が、とうとう来てしまったかと思おもあるが、私の場合、農業と自営業そして議員の仕事……。

サラリーマンの方々のような勤め人ではないので定年も無ければ第二の人生も無く、働けるうちは働いて余裕が出来た時にそれなりに楽しめれば良いと思っている。



大変な不況が続いていて、景気もそろそろ底をつくのではと思っていたら更に二番底があるとのことで不安が益々大きくなる。不況はなんとしてでも乗り越えなければならぬが、将来へ負担を大きくしてはならない。農業であれ、商工業であれ、観光産業であれ、全てにおいて、より良いカタチで次の世代へ受け渡すことが私たちの責任であり、そのための努力を怠ることは許されぬ。

還暦を迎える今年を特別な年とは考えていないが健康で良い仕事をして結果を出せる年にしたい。

今年もがんばります  
議会広報特別委員会



委員長 沢田信男



副委員長 真崎寿浩



浦山敏雄



田口勝次



高久昭二



青柳宗五郎



浅利則夫



田口喜義



黒沢龍己

私たちが発行する議会だよりも残り一回となり、次の議会は新年度予算を審議する議会です。市議会議員選挙と重なりますががんばります。